

2022年10月16日（日）主日朝礼拝説教

『人間になる』 井上隆晶牧師

コロサイの信徒への手紙1章13～20節、ヨハネ福音書1章1～5節

①【人間はキリストによって創造された】

●渡辺和子シスターの本にこんな記事がありました。「愛媛県の中学二年生の女子生徒が、言葉によるいじめを苦にして自殺した件で、その学校は全校集会を開いた。その席上、いじめが同級の男子生徒の嫌がらせによるものであったことを認めた学校側が、『今回の不幸を引き起こした一番の責任は先生にある。本当にすみませんでした』と謝罪した。…どこがおかしくないだろうか。たしかに、いじめが行われていることに気づかなかった責任は教師にもある。しかし『不幸の一番の責任』は教師にあったと言えるだろうか。いじめた子ども、その親以上に教師にあったのだろうか。私には、わからない。」

学校の先生は神様ではありません。完全を求めるのはおかしなことです。最近、自分が見えていない人、問題をすべて他人になすりつける人、自分の権利は主張するが義務をまっとうしようとしらない人、自分が変わる努力をしない人が増えているように思えます。歳を取ったら人は自然に完成するわけではないようです。人間とは一体何者なのでしょう。どうすれば完成するのでしょうか。

聖書は、人間は神によって創造されたと伝えます。創世記に「神は言われた。『我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう』」（創世記1:26）とあります。この「我々」こそ、父と子と聖霊の三位一体である神を指しています。それゆえ4世紀の聖パシレイオスはこういいました。「創造されたものの根源的原因を考えてみなさい。それは父です。創造の働き元となる原因を考えてみなさい。それは御子です。創造を完成させる原因を考えてみなさい。それは聖霊です。」三位一体の神が創造に関わっているのです。また、先ほど朗読したコロサイの信徒の手紙は「キリスト賛歌」といわれるもので、教会の中で歌われてきた伝承です。それをパウロが手紙に引用し、キリストが万物を創造したと語ります。「天にあるものも、地にあるものも、見えるものも、見えないものも、…万物は御子において造られたからです。つまり、万物は御子によって、御子のために造られました。」（コロサイ1:16）また、福音記者ヨハネも「万物は言（キリスト）によってなった。」（ヨハネ1:3）と語っています。それゆえ381年に作られたニケア信条も「万物は彼（御子）によって造られ」と宣言しました。少しコロサイの信徒への手紙の個所を説明しましょう。

■「御子において」…「in」「～の中で、おいて、～を通じて」万物は御子の監督のもと、御子の支配下のもとで創造されたという意味です。

■「御子によって」…「by」「～を通して、経て、媒介によって」御子の手によって、御子の媒介によって創造されたという意味です。すべての被造物にはキリス

トの手が加わっているのです。

■「御子のために」…「for」「～に向かって、目標に向かって」万物は、キリストに向かうように創造されているという意味です。

キリストが万物を創造し、それが破壊された時に修復に来られ、キリストと一体になることで万物は完成するのです。それゆえキリストは、はじめ (α) であり、終わり (ω) であると言われるのです。万物がキリストに向かって創造されているということは、この方に向かって生きることは、創造目的が完成することであり、この方から離れ、この方と違うものを目標とすれば、その者は完成しないということなのです。しかしイエス様が人間と万物を創造した、ということがよく分かっていないクリスチャンがけっこういるのです。

②【キリストこそ神の完全な像である】

もう少し、人間の創造について詳しく学んでみましょう。創世記の「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう」という言葉は、「かたどり (image)」と「似せる (likeness)」という二つの言葉が使われています。「image」は「像」です。つまり人間は神の像と似姿で造られているということになります。昔の教会は「神の像」は罪をもってしても破壊されないが、「神の似姿」は付いたり離れたりするもので、歪んでしまったと教えています。ところで、先ほど引用したコロサイの信徒の手紙のキリスト賛歌には「御子は見えない神の姿であり」(コロサイ 1:15) と書かれています。英語の聖書では「He is the image of the invisible God,」となっていて、御子は神のイメージ (像) であるといっています。神は目に見えませんが、人となって見えるようになった訳ですから、キリストを見た者は神を見たことになるのです。彼こそ神の完全な像であり、人間の原像・原型なのです。

●私の神学校の時の教会史の岩本牧師は、よくこのように言っていました。「本当の人間といえるのはキリストだけである。私たちは形は人間だけれども、人でなし (brute、monster) である。」

アダムは神になろうとして善悪知識の実を食べましたが、神にもなれず、人間にもなれず、人間以下のものになってしまいました。この世の人も皆アダムと同じように神の似姿を失ってしまったのです。人には生きるモデルが必要です。神が人となったのは、一つには人の罪を負い、死を滅ぼすためですが、もう一つは人間の模範 (モデル) となるためでした。

昔の教父たちはいいました。「キリストを見て真似られる所 (人間性) は真似なさい。真似られないところ (神性) は礼拝なさい。」名言です。だから私たちはキリストがどうされたのかを聖書から学び、キリストに真似ようとしなければなりません。画家がモデルから目を離さなければ、その絵は似た者となるでしょうが、モデルから目を

離して描けば、似ない者となります。それと同じで、キリストから目を離さなければ、あなたはキリストに似た者になるのです。彼こそ生きた律法です。文字として残っていなくても、彼が行ったことがすべて律法であり、命であり、彼がしたように行う者は命を得るでしょう。

②【キリストの側にいるのが弟子である】

●先日、キリスト教徒ではない方から「あなたは、なぜ信仰するのですか？」と聞かれました。一緒にいた相方の牧師は「自分の父は牧師だった。自分は父の事が好きだった。父はもう亡くなったが父にもう一度会いたい。自分は結婚していないし、子供もいない。この世に生まれてきて、このまま人生を終わったら、何も残らないと思うと空しい。もし永遠の命があり、神の国があると信じたら希望がある。だから信仰している。」と答えました。私は、「この世に確かなものは何もない。喜びもいつまでも続かず過ぎ去る。この世の物はだんだん入らなくなってくる。変わらないもの、最も確かなものを私は求めている。完全な平安が欲しいから信仰している。」と答えました。

人と対話をする、自分の中にあるものが引き出されるので、自分が分かるのです。人は自分を映す鏡です。人は人の中にいて初めて成長できるのだと思います。

●夏苺郁子さんという精神科医の方が『人は、人を浴びて人になる』という本を書いています。彼女は統合失調症の母に育てられ、青年期に精神病を発病し、不幸の原因を作った父母を殺したいと思うようになり、いつも鞆に包丁を持ち歩いていましたが、結局それもできず、二回自殺未遂をしています。そんな彼女の心を救ってくれたのは普通の人でした。患者さんから「夏苺さんの人生で、いちばん助けになったのは何ですか」と聞かれ、彼女は「それは薬でも医者でもありません。人との関係です。人の力が、薬でも治せなかった私の頑なな心を少しずつ変えていったのです。」と答えています。彼女は以前「人は、人の言葉を浴びて壊れていく」と思っていました。両親の罵り合い、母の妄想から来る暴言、学校時代に受けた醜いじめ…。人間が放つ言葉とは、これほど人を傷つけるのかと思って生きてきたというのです。しかし病を公表したら、多くの人から温かい言葉を貰いました。そして、人の言葉は温かいことを教えてもらい「自分はまっとうな人間になれた。人は、人を浴びて、確かに人になってゆく」と、心から思えるようになったそうです。

人となったキリストの言葉、聖書の言葉を聞き続けなさい。キリストの言葉があなたを人間に変えてゆきます。キリストが人を創造したのですから、キリストの言葉があなたを新しくすることができます。この間、朝の祈りで詩編を読み「**王はあなたの美しさを慕う**」(詩編 45:12)という言葉聞いて嬉しくなりました。「わたしは黒いけれども愛らしい」(雅歌 1:5)という言葉に良く似ていて、罪

があってもキリストは私の美しさを見ていて下さるからです。キリストと共にいなさい。彼と共にいればあなたはキリストに似てきます。人は一緒にいる人に似るからです。「十二人を任命し、使徒と名付けられた。彼らを自分のそばに置くため…であった。」(マルコ 3:14)「イエスと一緒にいた者である」(使徒 4:13)とあるように、弟子である皆さんはイエスのそばに置かれ、イエスと一緒にいる者として選ばれたのです。私は朝、教会にやってきて、聖書を朗読し、祈り、礼拝すると「ああこれで自分は人間に戻り、人間になれる」と感じます。私たちには素晴らしい本物のモデルがすぐそばにおられるのです。その方の力によって、私たちは本当の人間に作り替えてもらえるのです。それを感謝し、希望を持ちましょう。